

エピソード

家庭でシール帳を持っていることをきっかけに、園でもシール帳をつくって遊んでいる子ども達。シール程度の大きさに切った画用紙にハートや好きなキャラクターの絵をかいて自分なりのシールをつくり始めました。「シールつくるの楽しいなあ」「うん」「家にプクプクシールとかあるよ」「私も持ってる!」と話していた子ども達に保育者が「プクプクシールってどんなの?」と聞くと「ぷっくりしてる」「触ったら気持ちいい」と知っていることを話しました。

保育者はプクプクシールに使えるストロー、ビニール、ソフトボール、アルミホイル等を小さく切って、準備しました。Aちゃん「ストローいいね。使ってみよう」とストローをセロテープで接着すると、ストローの空洞の部分の形が変わることで押せるようになり、「ぷっくりしてるし可愛い」と立体的になったことを喜びました。

さらに A ちゃんは「ストローが見えないようにしたい」と、ビニールの下にストローを入れてセロテープで留めました。Aちゃん「先生触ってみて?」保育者「わあ、面白い。ストローは見えないのに触ったらプクプクしてるね」とAちゃんの工夫に驚くと、近くにいた友達も「触ってみたい」「すごい!やりたい」と本児の工夫に驚き、同じようにつくるようになりました。

友達や保育者に見てもらえて嬉しい A ちゃんはもっとぷっくりさせようと考え、ストローとソフトボールを層にして何層も重ね、2センチほどの厚みのあるシールをつくりました。Aちゃん「めっちゃ大きくなった(厚くなった)」と満足そうに笑い、シール帳に貼りました。自分達でつくったシールを貼ったシール帳を友達と見せ合い、「(シールが厚くて)シール帳が閉まらない」と満足そうに笑い合っていました。

子どもの育ちや学び

園でもシール帳をつくってみたい
(興味・楽しい)



ストロー
ビニール
シール帳

ストローがあると
ぷっくりするね
(気づき)

ビニール
ストロー
シール帳

ストローが見えないようにしたい
(工夫、試す)

ビニール
ストロー
ソフトボール
ストロー
シール帳



大きくて(厚くて)シール帳
が閉まらない
(嬉しい・満足)

こんなシール帳
ができたよ
(見てほしい)

- ・家庭で経験したことを話したり、知っていることを言葉にして友達や保育者に伝えたりする。
- ・色々な素材に興味をもち、自分が使いたいものを選ぶ。
- ・したいことに合わせて、素材の使い方を工夫する。
- ・友達のつくったものを見たり、作り方を知ったりして、刺激を受けながら遊ぶ。

**保育者の思い**

- ・普段から友達と集めているシールの話をして盛り上がる姿があったので、子ども達が興味をもっていることを遊びに取り入れたいなと思いました。
- ・『プクプクシール』というワードから、立体的で厚みのあるシールをつくりたいという思いが生まれました。子ども達からどんなものなのか聞きながら、素材を扱いやすそうな大きさに切って用意しました。
- ・ストローが見えないように貼り方を変えたり、何層にも重ねてより厚みを出したりなど、自分なりに工夫してつくる姿を認め、友達のしていることを周りの子ども達に知らせました。

家庭だったら・・・

「家で持っているようなシール帳を作りたい」という思いをもっている子ども達。「どんな材料でできているのかな?」「どうやったら自分でつくれるかな?」と材料や作り方を一緒に考えてみると面白いですね。